さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通活性化協議会

令和4年4月25日設置

概　要

さっぽろ連携中枢都市圏は、北海道の西部に位置する石狩管内（石狩振興局管内）の全8市町村に、隣接する後志管内（後志総合振興局管内）の小樽市と空知管内（空知総合振興局管内）の岩見沢市、南幌町、長沼町を加えた12市町村で構成される。総面積は約4,515㎢（全道の約5%）で、総人口は約256万人（R2国勢調査）と道内の約50%の人々が当地域で生活している。国内有数の観光地、大学等の研究機関の集積、空港や港湾といった重要交通拠点など、さまざまな機能や個性を持つ市町村により、これらの強みを背景として発展を続けている地域であるが、公共交通を取り巻く環境は厳しい状況にあり、地域が一体となり公共交通の維持・存続に向けて取り組むため、地域の公共交通政策のマスタープランとなる「さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通計画」を策定する。

○地域公共交通の現況

- JR線：函館本線、千歳線、札沼線（学園都市線）、室蘭本線及び石勝線
- 高速バス：11路線
- 路線バス：市町村間を跨ぐ広域バス路線71路線、他単独市町村内運行路線多数
- 市町村営バス：札幌市、千歳市、恵庭市、石狩市、当別町、南幌町、長沼町で生活圏交通として定時定路線のコミュニティバスやデマンドバス等を運行

○地域公共交通の課題

- 高齢者や高校生、観光客等の多様な移動ニーズに対応した移動の確保
- 将来動向を見据えた公共交通体系の構築
- 幹線・広域交通と生活圏交通の接続性向上
- 公共交通の利用促進による持続的な運行体制の構築
- バス運転手不足への対応

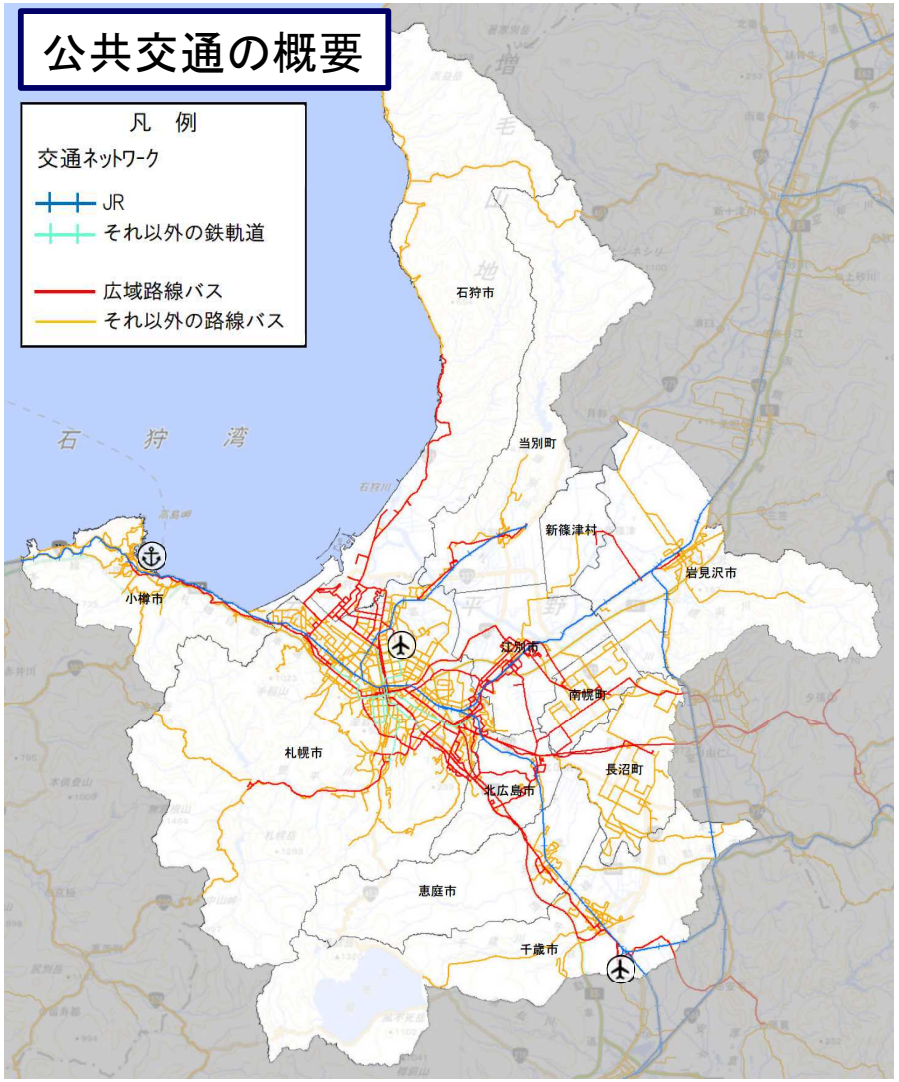
○調査の主な内容

- 地域概況及び関連計画の整理：人口分布・施設立地・市町村総合計画等の整理
- 地域公共交通の実態調査：バス乗込み調査、交通事業者調査、市町村役場調査など
- 住民等による広域移動ニーズ調査：住民アンケート調査、来訪者Webアンケート調査など

○地域公共交通活性化協議会開催状況

令和4年4月19日　第1回協議会（書面開催）：協議会設置、事業計画及び収支予算の決定等
令和4年8月9日　第2回協議会：委託業者の報告、調査・検討の内容・進め方の協議等
令和5年1月17日　第3回協議会：各調査結果の報告・課題・方針等の提示等
【予定】令和5年2月第4回協議会：地域公共交通計画（原案）の協議等
※第2，3回協議会前に市町村役場を対象としたWeb説明会、令和4年10月に地区別部会（市町村役場との意見交換）を5方面で開催

公共交通の概要



さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通活性化協議会
計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

【地域概況及び関連計画の整理】

・さっぽろ連携中枢都市圏の概況として、地形・地勢（標高・土地利用状況）や人口分布・推移、主要施設の立地状況（医療施設・教育施設・商業施設・観光施設など）等を整理するとともに、北海道や市町村の関連計画（総合計画等）を整理した。

【地域公共交通の実態調査】

①交通事業者調査

・既存データに基づき各交通事業者を対象として、公共交通の利用実態やバス運転手等の実情・今後の見通し等を調査した。

②市町村役場調査

・さっぽろ連携中枢都市圏の各市町村役場（12市町村）を対象として、市町村営の公共交通（コミュニティバス、デマンドバスなど）の運行・利用実態や、その他の交通資源（タクシー・ハイヤー事業者、スクールバス、福祉バスなど）の状況、公共交通に関する取組（利便性向上・利用促進等）の実施状況等を調査した。

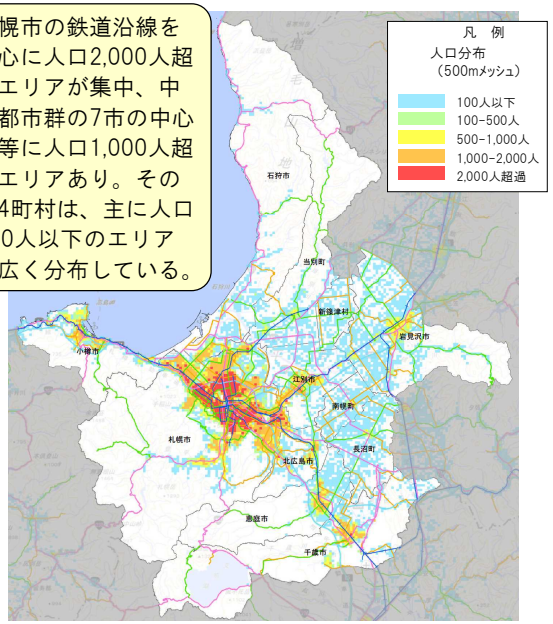
③バス乗込み調査

・当地域を運行する広域路線バスのうち、主となる広域路線バス20系統を対象として調査を行った。
乗客へのアンケート調査と、調査員の目視による乗降者数の把握を実施し、2,345サンプルのアンケート回答と5,738名の乗降データを得た。

地域概況（抜粋）

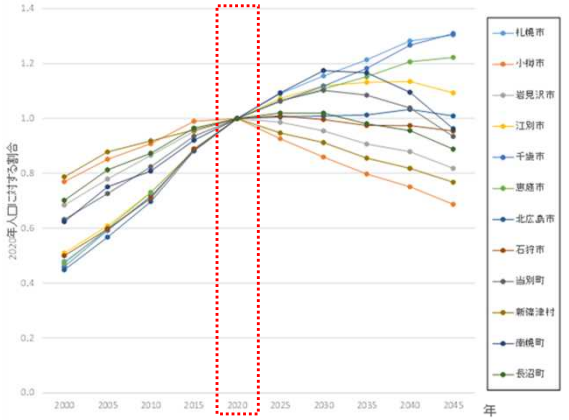
人口分布

札幌市の鉄道沿線を中心に人口2,000人超過エリアが集中、中核都市群の7市の中心部等に人口1,000人超過エリアあり。その他4町村は、主に人口100人以下のエリアが広く分布している。



市町村毎の高齢者人口推移

高齢者数は、全市町村において、2020（令和2）年まで増加傾向で推移しているが、今後は増加を続ける自治体と減少傾向になる自治体がある。



バス乗込み調査結果（抜粋）

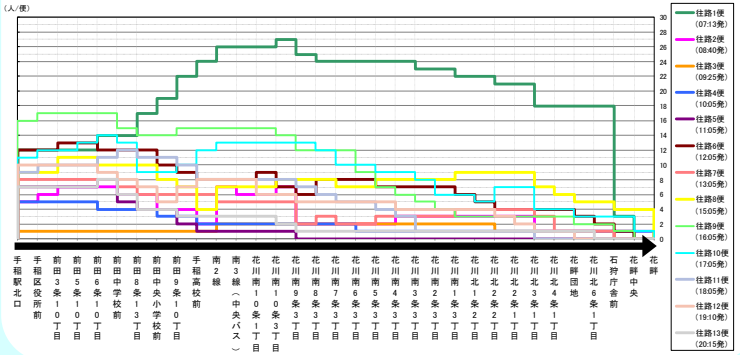
アンケート調査結果（OD整理）

アンケート回答結果より路線ごとのバス利用者ODを整理し、市町村をまたぐ利用の状況等を把握した。

	バス停名	降車 札幌市 手稲駅北口	前田3条1-10丁目	前田5条1-10丁目	前田6条1-10丁目	前田8条1-3丁目	前田中央小学校前	前田9条1-10丁目	手稲高校前	南2線	石狩市 南3線（中央バス）	花川南1-10条1丁目	花川南1-10条3丁目	花川南5条3丁目	花川南7条3丁目	花川南8条3丁目	花川南6条3丁目	花川南5条3丁目	花川南4条3丁目	花川南3条3丁目	花川南1条3丁目	花川北1条2丁目	花川北2条2丁目	花川北2条1丁目	花川北3条1丁目	花川北4条1丁目	花川北6条1丁目	石狩庁舎前	花畔中央	花畔	記載なし	不明
乗車 札幌市	手稲駅北口		0	1	0	3	2	4	4	1	3	0	0	0	0	3	0	2	0	0	2	2	0	0	0	3	0	1	0	2	1	6	2	1	1	0
	手稲区役所前	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前田3条10丁目	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	前田5条10丁目	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前田6条10丁目	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	前田中学校前	3	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前田8条13丁目	2	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前田中央小学校前	2	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	前田9条10丁目	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
	手稲高校前	3	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	南2線	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石狩市	南3線(中央バス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	花川南10条1丁目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	花川南10条3丁目	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	花川南9条3丁目	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	花川南8条3丁目	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	花川南7条3丁目	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	花川南6条3丁目	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	花川南5条3丁目	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	花川南4条3丁目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	花川南3条3丁目	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	花川南2条3丁目	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	花川南1条3丁目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	花川北1条2丁目	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	花川北2条2丁目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	花川北2条1丁目	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	花川北3条1丁目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
	花川北4条1丁目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0
	花畔団地	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
	花川北6条1丁目	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
	石狩庁舎前	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
	花畔中央	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
	花畔	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		0	0
記載なし		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
不明		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

目視調査結果（便別区間別のバス乗車人数整理）

目視調査により把握したバス停別の乗降者数より、便ごとにバス停間のバス乗車人数を整理し、利用状況を把握した。



さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通活性化協議会
計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

【住民等の移動実態・ニーズ把握調査等】

①統計データ分析

・地域住民の通勤・通学・通院などの移動特性を国勢調査等の既存データに基づいて整理した。

②住民アンケート調査

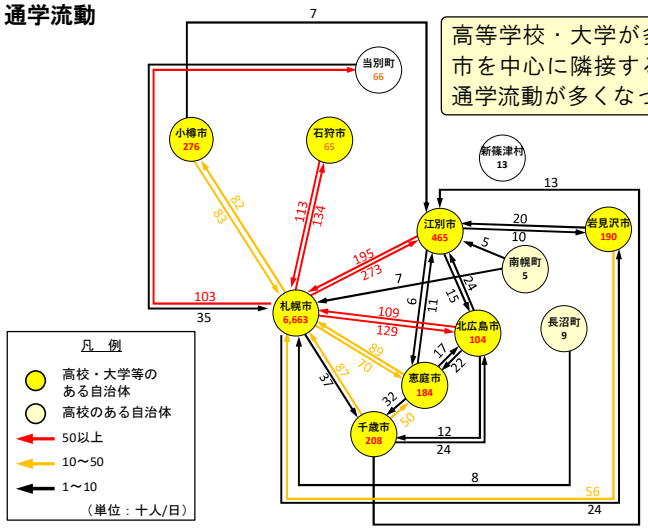
・地域住民の移動特性や公共交通の利用実態・ニーズ等の把握を目的として、地域住民を対象としたアンケート調査を実施した。
効率的に調査を実施するため、十分なサンプルの確保が可能と想定される8市はWebモニタ調査で実施し、Webモニタ調査でサンプルの確保が難しいと想定される4町村は、調査票を配布する形式で調査を実施し、合計で2，822サンプルの回答を得た。

③来訪者Webアンケート調査

・さっぽろ連携中枢都市圏への来訪者の移動特性や公共交通の利用経験・ニーズ等の把握を目的として、Webモニタアンケート調査を実施した。
調査では、過去3年間でさっぽろ連携中枢都市圏への来訪経験がある北海道内外在住のWebモニタを対象に、エリア別に来訪頻度や来訪目的、交通手段、公共交通に対する意見等を調査し、486サンプルの回答を得た。

統計データ分析結果（抜粋）

通学流動

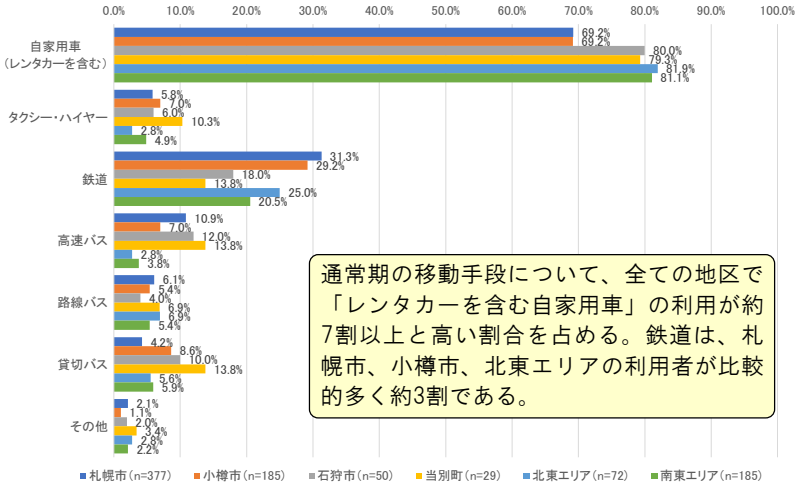


高等学校・大学が多数ある札幌市を中心に隣接する市町村間で通学流動が多くなっている。

※数値は、通学者数（人/日）であり、50人/日以上の流動のみを記載。各市町村の○内の数値は、在住市町村内の通学者数

来訪者Webアンケート調査結果（抜粋）

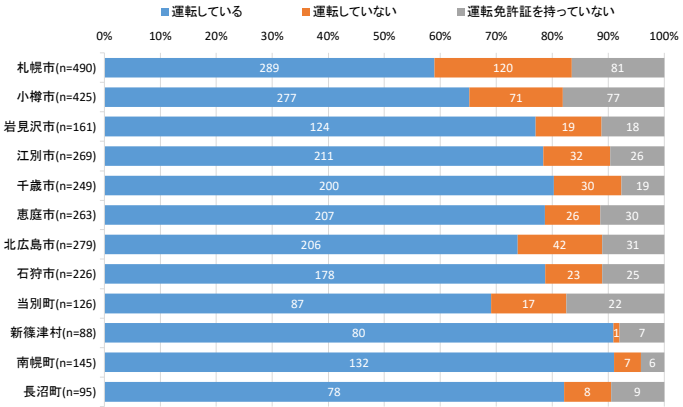
各エリアを観光・レジャー目的で訪問した際に、利用した交通手段（通常期）



通常期の移動手段について、全ての地区で「レンタカーを含む自家用車」の利用が約7割以上と高い割合を占める。鉄道は、札幌市、小樽市、北東エリアの利用者が比較的多く約3割である。

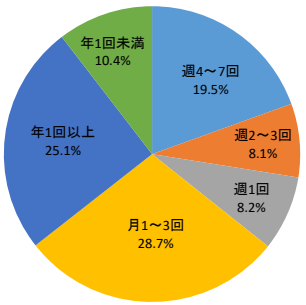
住民アンケート結果（抜粋）

日常的な運転の有無

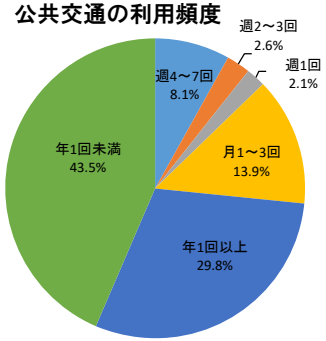


普段、車を「運転している」人の割合が他の市町村と比べて低いのは、札幌市の約59%、小樽市の約65%、当別町の約69%で、新篠津村や南幌町は、普段、車を「運転している」人の割合が9割以上と高い。

札幌市に訪れる頻度



札幌市に訪れる際の公共交通の利用頻度



札幌市を訪れる頻度は、「月1～3回」が最も多く約29%で、週1回以上の頻度で札幌市を訪れる方が約36%だが、札幌市を訪れる際に公共交通を利用する頻度は、「年1回未満」が最も多く約44%、週1回以上の頻度で公共交通を利用する方は約13%で、移動頻度の高い人は、公共交通を利用している割合が低い。

さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通活性化協議会
計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

・各調査・整理結果や協議会構成機関（市町村役場等）との協議（地区別部会・協議会総会等）を踏まえて、さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通計画案の作成を進めており、令和4年度内に計画原案を作成し、パブリックコメントを実施したうえで、令和5年5月に計画を策定する予定である。

・計画案は、「はじめに」で計画の概要（趣旨・期間・区域・位置付けなど）を示した上で、「さっぽろ連携中枢都市圏の現状・将来像及び課題」を整理し、それらを踏まえた計画の「基本的な方針・目標」、「目標達成のための施策・事業」、及び「計画の進行管理」をとりまとめる。

・「5. 地域公共交通の課題」は、地域全体や各方面（小樽・北東・南東・石狩・当別方面）における現状・問題点を整理した上で、さっぽろ連携中枢都市圏全体の地域公共交通計画で対応していくべき公共交通に関する課題をとりまとめる。

・「6. 計画の基本的な方針・目標」は、さっぽろ連携中枢都市圏の公共交通の課題を踏まえて、計画が目指すべき将来像や公共交通が目指すべき役割を示す「基本的な方針」を設定するとともに、方針に即した計画の具体的な「目標」を設定する。

計画の基本的な方針の設定イメージ

基本方針１：地域住民等の広域移動を支える持続可能な幹線・広域交通の維持・確保

基本方針２：生活圏交通と幹線・広域交通の接続性向上によるシームレスな交通体系の確保

基本方針３：公共交通の利用促進による持続性の確保

さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通計画の構成イメージ

	計画の目次構成	各項の概要
概 要	1．はじめに	計画策定の趣旨、計画の期間、計画の対象区域、上位・関連計画の概要、計画の位置付け、公共交通の位置付け
さっぽろ連携中枢都市圏の現状・将来像及び課題	2．地域の概況	さっぽろ連携中枢都市圏の地形・地勢、人口推移・分布、主要施設（病院・学校など）の立地、観光入込動向など
	3．地域公共交通の現状	鉄道、バス（民間・市町村運営）の運行・利用実態、タクシー・ハイヤーや他の移動資源の現状など
	4．地域の移動特性・ニーズ	地域住民の通勤・通学・通院などの移動特性・ニーズ、地域への来訪者（観光）の移動特性など
	5．地域公共交通の課題	さっぽろ連携中枢都市圏の公共交通の問題点および課題（方面別、地域全体）
計画の方針・目標、施策・事業、評価	6．計画の基本的な方針・目標	計画が目指すべき将来像や公共交通が目指すべき役割を示す「基本的な方針」、方針に即した計画の「目標」、目標の達成度の評価方法（評価指標、指標の目標値、評価スケジュール）
	7．目標達成のための施策・事業	目標達成のための施策・事業（内容、実施主体（北海道・市町村・交通事業者等）、計画期間内でのスケジュール、など）
	8．計画の進行管理	各事業の進捗・目標達成状況の評価・検証体制、方法、実施スケジュール、など

問題点・課題の整理のイメージ

問題点：交通体系が自家用車に依存している。

問題点：移動手段を持たない高齢者の増加が見込まれる。

問題点：高校生の通学が広域化している。

問題点：路線バスの利用が低迷している。

問題点：鉄道やバス路線等の広域公共交通が利用しにくいエリアが残存している。

問題点：バス運転手の高齢化が進展しており、人員不足の懸念がある。

課題①：高齢者や高校生、観光客等の多様な移動ニーズに対応した移動の確保

課題②：将来動向を見据えた公共交通体系の構築

課題③：公共交通の利用促進による持続的な運行体制の構築

課題④：幹線・広域交通と生活圏交通の接続性向上

課題⑤：バス運転手の不足への対応

さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通活性化協議会
計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

・「7. 目標達成のための施策・事業」では、目標を踏まえて、目標達成のための施策・事業の内容や実施主体（北海道・市町村・交通事業者等の役割分担）、実施スケジュールを設定し、「8. 計画の進行管理」において、目標の達成度の評価方法（評価指標・目標値など）、評価結果を踏まえた見直しの実施方針を設定する。

・特に、施策・事業の「幹線・広域ネットワークの維持・確保方針」については、各地域間の公共交通を対象に、現状の運行実態や利用実態・移動ニーズに基づく考え方をベースとして、各市町村役場や交通事業者の意見も踏まえながら、公共交通の維持・確保方策や交通モードの転換、系統再編等の方策を立案し、計画に位置付ける予定である。

●事業実施の適切性

予定した事業は全て年度内に実施する予定であり、事業は適切に実施されている。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

・事業は、計画どおり実施されている。
・引き続き事業の完了に向けて取り組んでいただきたい。
・複数地域全体の地域公共交通計画を策定するのは調整に労力を伴うが、区域内の状況を踏まえつつ、計画を確実に策定いただきたい。
・なお、その際には、公共交通事業の収支率や公的資金投入額などの事業効率の改善等についても検証していくことをご検討いただきたい。